

令和 6 年度

保育の実施及び保育環境の充実に関する要望書

令和 7 年 2 月 5 日(水)

苫小牧市法人保育園協議会

令和 7年 2月 5日

苫小牧市長 金 澤 俊 様

苫小牧市法人保育園協議会
会長 遠 藤 明 代

保育の実施及び保育環境の充実に関する要望書

日頃、苫小牧市法人保育園への要望に対して、お忙しい中時間を割いて頂き、御礼申し上げます。

昨年は、国の予算化に伴い、エアコンの設置補助に対する迅速な配慮に対し感謝申し上げます。次第です。

コロナ禍を乗り越えて5年目を迎えますが、保育現場は今でも子どもたちの距離感や、各種消毒などは欠かすことができず、職員も感染対策を怠らないように衛生環境を整え日々保育職務に励んでいます。

苫小牧市で初めて、法人保育園が設立されて55年を迎えます。長きに亘り、苫小牧市の保育園運営を担ってきましたが、ここ数年来出生人口の激減により、各園の0歳児1歳児2歳児の入所児童も比例するように、減少して各法人保育園の運営を圧迫し始めております。

児童福祉の保育分野を幼稚園から認定こども園になった施設でも実施されるようになり、苫小牧市の子どもたちの健やかな発達を支援し、安心して保護者が就労できる環境作りのために、今後も認可保育園として、認定こども園も法人保育園も健全な社会福祉事業者として今後も共により良い施設運営を目指したいと思えます。

今回は、約4項目にわたる苫小牧市への要望と共に、国に対して苫小牧市として要請して頂きたい項目に分けてお願いをいたしますので、今後ともご理解とご支援を賜りたく、お願い申し上げます。次第です。

令和 6 年度 保育の実施及び保育環境の充実に係る要望書

1. 苫小牧市が副食費を無償化して、安心して子育てできる環境作りを実現して下さい。

この度、金澤市長におかれましては、公約として「子どもと真ん中政策」を打ち出されているので、既に副食費について完全無償化についての施策として、お考えがあることを大変期待しております。

苫小牧市が他市町村に先駆けて「子どもを産み育てるより良い環境作り」として、保護者から期待される子育てしやすい環境づくりを率先して実現して頂けるように、苫小牧市の補助指定期間である令和 7 年 7 月以降も副食費の無償化の実現をお願い申し上げます。

2. 0 歳児から 1 歳児園児数の定数割れによる施設運営難への補助要請へのお願い

今年度も第一次入園調整が発表され、各施設共に入所者の激減に頭を抱えております。(別紙参照)これから、第 2 次の調整もありますが、大幅な園児数増加は見込めないところは、運営自体が不安定になり、途中入園を期待して保育士を確保しているため、定数に達しない園に対して、四半期精算の 1 期分相当額を入所予想児童数として、補填をお考え頂きたいと思っております。

本来公定価格を利用定員数で(標準一律)算定して頂きたいのですが、これは国に対して、苫小牧市としても是非要望に挙げて頂ければと思っています。

3. 障がい児保育実施園に対しての人的配置加算のお願い

市長におかれましても、発達支援の必要なお子さんが年々増加傾向にあることは既に、ご承知のことと思います。

保育園は早朝 7 時から開始して延長保育を実施しているところは、午後 7 時まで保育園を開所しています。

各園では保護者の方の就労時間に合わせた保育を実施しているため、見守りや支援が必要なお子さんが早朝から延長保育時間まで通園している場合もあり、安全を確保しながらの保育に困難を極めている園もあります。

現在は約 4 時間の人件費が加配されていますが、同じクラスで対応する場合がありますが、発達支援を必要としている園児さんが各クラスに点在している場合が多く、殆どのご家庭が長時間保育を必要としている場合には、加配補助で足りない時間数を各園の自園努力によって予算を捻出しています。

この件につきましては、より充実した発達支援児の支援を実施するためにも人件費の加算をお願いいたします。

4. 5 歳児健診の実施実現化並び専門医の常駐へのお願い

本会は平成 22 年から要望を継続しています 5 歳児健診については、長きに亘りお願いしてきましたが、前回も要望書に何故 5 歳児での検診が必要かについては、記述しましたが、4 歳児から 5 歳児の年齢に前頭葉の発達が発達して運動分野では、協調運動や行動抑制力が豊かになり、情緒、言語、認知、概念等については、3 歳児健診では見極められない違いが出てくることから、脳科学者の見解発表もされています。

現在幼少連携として、ひとりひとりの子どもたちの発達をスムーズかつ丁寧に行う引継ぎも実施されていますが、発達支援を必要としている子どもさんを持つ保護者が育児相談や小学校生活への不安などが相談できる「支援パッケージ」として位置付ける必要があります。このことは、実施されている自治体もあるそうですので、苫小牧市も 5 歳児健診の実施を本格的に取り組んで頂きたいをお願い申し上げます。

なお、その際に小児神経科等の発達を専門に診療して頂ける医師の同席をしていただき、将来的には苫小牧市の病院及び発達支援センター等に専任の医師を配置していただきをお願い申し上げます。